

第 38 回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2021 年 9 月 3 日（金） 13:00～14:00

於：オンライン開催

■定足数確認（大邑総務委員長）

歴史地震研究会会則第 20 条により、総会は会員の 10 分の 1 の実出席を要すると定められている。現在の会員数 274 名、総会参加会員数は 45 名、委任状提出 35 名(代理人を議長とするもの 33 件、会長とするもの 2 件)で定足数を満たし、総会は成立する。

■松浦律子会長挨拶

■議長選出

佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され議長が進行を務める。

第一号議案 2020 年度事業報告および決算報告

1. 2020 年度事業報告

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 37 回歴史地震研究会（オンライン伊賀大会）の開催について（代理：大邑総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)①により説明。

②第 38 回歴史地震研究会（苫小牧大会）の開催準備について（西村行事委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)②により説明。

(2) 会誌の刊行について（行谷編集出版委員長）

『歴史地震』第 36 号を 2020 年 7 月末に発行したことについて総会資料第一号議案 1.(2)により説明。

(3) 広報活動について（加納広報委員長）

総会資料第一号議案 1.(3)により、ホームページの運用・更新、研究大会について関係学協会への周知、メーリングリストの管理について説明。

(4) その他（大邑潤三総務委員長）

研究会の各事業を行うために、大会中の総会 1 回と幹事会 7 回を行ったこと、および社会貢献活動として、3 月 11 日を「防災教育と災害伝承の日」とすることを提唱する運動に参加したことを総会資料第一号議案 1.(4)により説明。

2. 2020 年度決算報告

(1)2020 年度決算報告について（諸井孝文財政委員長）

総会資料第一号議案 2 および説明資料の 2020 年度会計監査報告書、会員の現況及び会費受取状況により、2020 年度の収入と支出、オンライン伊賀大会の収支について報告。

(2)会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2020 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した旨報告。

歴史地震研究会 2020年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2020年度会費	948,000	980,000	32,000	4000円×245名
	2019年度会費	0	32,000	32,000	4000円×8名
	2021年度会費	0	44,000	44,000	4000円×11名
	会誌バックナンバー代	0	24,820	24,820	会誌22部(送料込)
	寄付金	0	20,000	20,000	小磯修一会員
	前年度繰越	2,749,635	2,749,635	0	
	合計	3,697,635	3,850,455	152,820	

支出	2020年度オンライン伊賀大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	次年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	歴史地震36号印刷・発送代	765,000	784,740	19,740	437部、振込送料440円込
	同編集費	25,000	10,220	▲ 14,780	編集補助、振込送料220円込
	HP管理費	20,000	9,440	▲ 10,560	振込送料220円込
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	18,231	▲ 11,769	資料送付料・切手代・他
	合計	1,140,000	822,631	▲ 317,369	

次年度繰越金	2,557,635	3,027,824	470,189	
--------	-----------	-----------	---------	--

〈第一号議案についての質疑〉

なし

(議長) 第一号議案 2020年度事業計画および決算報告の承認

承認：80 非承認：0 保留：0 第一号議案を承認

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第18条第2項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 松浦律子氏の次期会長就任の承認

承認：80 非承認：0 保留：0 松浦律子氏の会長就任を承認

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第18条第4項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 中村操氏と植竹富一氏の次期監査役就任の承認

承認：80 非承認：0 保留：0 中村操氏と植竹富一氏の監査役就任を承認

■新会長挨拶と役員指名

次期の松浦律子会長より挨拶。2021年度の役員は、副会長に堀川晴央氏(継続)、幹事は総務委員長に

大邑潤三氏（継続）、財政委員長に諸井孝文氏（継続）、広報委員長に室谷智子氏（新任）、行事委員長に林能成氏（新任）、編集出版委員長に加納靖之氏（転任）を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶

第四号議案 2021 年度事業計画および予算案

1. 2021 年度事業計画案

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 38 回大会を苫小牧市において開催予定であったが、感染症拡大により公開講演会、懇親会、巡検を中止し、オンライン苫小牧大会と改称して研究発表会と総会をオンラインで実施。（大邑総務委員長）

②2022 年第 39 回大会を高槻市で開催するため準備を行う。（林新行事委員長）

③2023 年第 40 回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。（大邑総務委員長）

(2) 会誌の刊行（行谷編集出版委員長）

会誌『歴史地震』第 37 号を 2022 年 7 月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて、総会資料第四号議案 1.(2)により説明

(3) 広報活動（加納広報委員長）

ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行うこと、および会員向けメーリングリストへの登録呼びかけを、総会資料第四号議案 1.(3)により説明。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰（大邑総務委員長）

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨、総会資料第四号議案 1.(4)により説明。

(5) その他（大邑総務委員長）

会の運営のため総会および年間 5 回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案 1.(5)により説明。

2. 2021 年度予算案（諸井財政委員長）

総会資料第四号議案 2 により 2021 年度予算案について説明。

〈第四号議案についての質疑〉

なし

（議長）第四号議案 2021 年度事業計画および予算案の承認

承認：78 非承認：0 保留：2 2020 年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会